

所属校 岩見沢校 専攻 スポーツ文化 学年 4年 氏名 大石 和輝  
留学先 アメリカ合衆国 アラスカ大学フェアバンクス校

## Alaskan Life

### ◎留学経験から得たもの

約 9 か月のアラスカ大学フェアバンクス校への交換留学プログラムで得たものは、これまで、そしてこれからの人生においてかけがえのないものとなったと感じます。まず第一に、語学力について、留学の約 1 年前から本格的な勉強を始め、留学するころには日常会話程度は不自由なくできるようになりました。それも自分に今何が足りないかを正確に把握し、そのウィークポイントを克服できるように留学までの勉強計画を立て、毎日 1 時間～3 時間の勉強時間を取り、勉強に励んでいました。その成果もあり、英語の運用能力にはかなり自信を持てるようになり、今まで趣味で勉強していた程度であった英語も何かの仕事に活かせるのではないかと、という自分の将来を左右するかもしれない一つのストロングポイントになりました。それに加え、留学前の 1 年も含め、約 2 年という中長期の目標に対して計画を立て、最終的にそれを成功させたことは自身の自信につながったことは留学によって得られた大きな収穫と言えると思います。

次に、留学をしたことで、様々な考え方、人生、出自、宗教観を持つ人々に出会ったことは自らの視野を広げ、より柔軟な思考で物事を考えられるようになったきっかけになりました。さらに偶然仲良くなった友人がクリスチャンで自分と異なる考え方について深く知れたことや、先進国アメリカの持つ光と影を垣間見たことは、これからどんどん進んでいく日本のグローバル化に適応し、日本という国を客観的に見ることのできる人間になれたことにもつながりました。そしてそれは中国、米国等の日本に大きな影響を持つ海外の国々と対等に渡り合っていくために、これからの日本には必要不可欠な人材であると思います。また、留学中毎日が新しいことの連続であったため、自分の無知を自覚し、毎日新聞を読む習慣がついたことは留学前後で変わったことの一つです。

最後に、アラスカの大自然を堪能できたことは純粋に楽しかった記憶として鮮明に残っています。また、アウトドア・ライフコースを専攻する学生として、圧倒的なアラスカの自然、また、その自然の中で今もなお伝統的な狩猟を行っているアラスカ先住民族の自然と密接に関わりながらも、自然と共生している姿は感慨深いものがありました。総括して、大学在学中に留学できたことはとても良い経験、そして思い出となりました。

### ◎これから留学する学生へのメッセージ

どこにどのくらい留学するかに関わらず、準備を入念にすることが重要です。そしてどんな留学にしたいか何のために留学するか、また留学の具体的な目標（TOEIC～点など）を

明確にして留学に臨むことが有意義な留学生活を送るために必要です。留学する前にできることはできるだけ行い、留学中には留学中にしかできないことをやれるようにすることが一番良いと思います。またどこに留学に行っても同じ日本からの留学生がいると思いますが、語学力の向上を目指しているなら、なるべく関わらないようにするか日本語を話さないようにすると良いです。日本人でも高い志を持って共に高めあえる存在であれば問題はないです。留学するからにはその費用と時間に見合う経験をできるようにできると良いと思います。

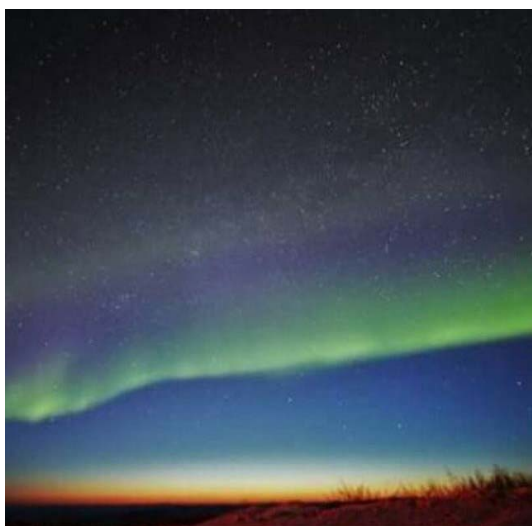
## ◎アラスカの写真



Winter break 中に友達の家があるアラスカの南に位置する Kenai の海岸



大学のイベント：チーム対抗でスクラップを使いオブジェクトを作り、最後に火をつけ祝う



オーロラ：キャンパスから車で30分ほどの山から撮った写真



キャンパス内にあるアイスクライミング用のクライミングウォール